



令和元年 6月19日

「わが村は美しくー北海道」運動 大賞審査開始 ～第9回コンクール大賞審査委員会、第1回委員会を開催～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）第9回コンクールで、優秀賞を受賞した13団体の中から大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を開催します。

第9回コンクールには、全道59市町村から61団体の応募があり、優秀賞13団体、奨励賞21団体を決定し表彰しました。

コンクールの2年目となる本年度は、優秀賞13団体の中から大賞の表彰を行うこととし、大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を下記のとおり開催します。（詳細は別紙を参照ください）

記

日 時： 令和元年6月25日（火） 13:00～17:00

場 所： 札幌第1合同庁舎 10階1号会議室
（札幌市北区北8条西2丁目）

取 材： 審査選考過程のため、傍聴、撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。
なお、表彰団体は9月下旬頃ホームページ等で公表する予定です。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわっていきこうとするもので、平成13年から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、ホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 佐々木 悟（内線5683）

農業水産部 農業振興課 農村地域振興第2係 石水 誠（内線5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



「わが村は美しく - 北海道」運動 第9回コンクール大賞審査委員会 第1回委員会の開催について

6月25日（火）に「わが村は美しく - 北海道」運動 第9回コンクール大賞審査委員会第1回委員会を開催します。

1 コンクールの開催について

北海道開発局では、道内各地の住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村地域の発展に寄与することを目的に、平成13年から「わが村は美しく - 北海道」運動を推進しており、この運動の一環としてコンクールを開催しています。

コンクールには、これまで全道169の市町村から1,172団体の応募があり、延べ254団体を表彰しています。

2 大賞審査委員会第1回委員会の開催について

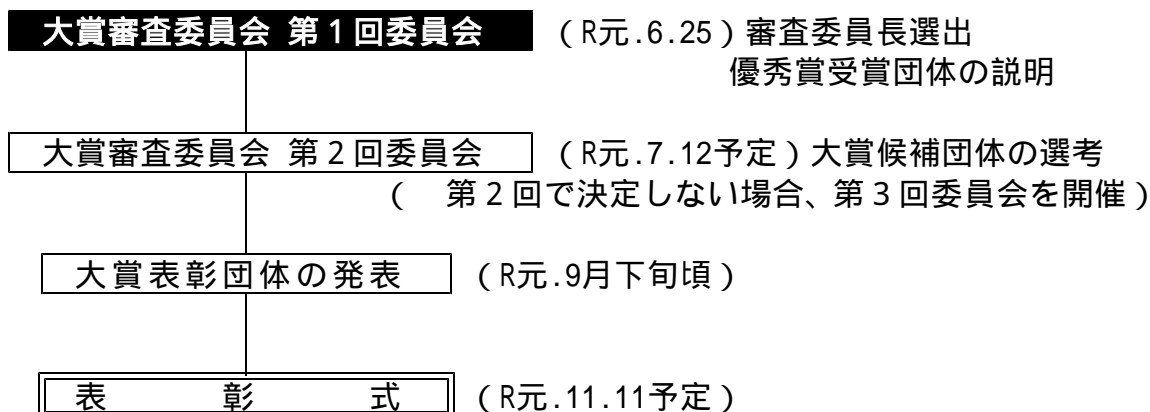
第9回コンクールには、全道から61団体の応募があり、本年3月までに優秀賞13団体及び奨励賞21団体を表彰したところです。

コンクール2年目となる本年度は、優秀賞受賞13団体の中から大賞の表彰を行うこととし、大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を下記のとおり開催します。

記

- 日 時 令和元年6月25日（火） 13:00～17:00
 （ 審査選考過程のため、傍聴、撮影は冒頭挨拶までとさせていただきます）
- 場 所 札幌第1合同庁舎 10階1号会議室
 （札幌市北区北8条西2丁目）
- 議事次第
- ・開会
 - ・農業水産部長挨拶
 - ・審査委員紹介
 - ・審査委員長選出、挨拶
 - ・審査議事（優秀賞受賞団体の活動概要説明ほか）

大賞審査スケジュール



「わが村は美しく - 北海道」運動第9回コンクール大賞審査委員会

委員名簿

(五十音順 敬称略)

有山 忠男	株式会社ライヴ環境計画 代表取締役社長 NPO法人ガーデンアイランド北海道 事務局長
加藤 聡	北海道土地改良事業団体連合会 専務理事
中井 和子	中井景観デザイン研究室 代表 NPO法人「わが村は美しく - 北海道」ネットワーク 理事長
中島 則裕	生活協同組合コープさっぽろ 専務理事
原田 亜紀	オフィス Ricca CREATION プランナー・エディター

優秀賞受賞団体一覧

ブロック	団体名	市町村	活動概要
札幌	江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会 加工部会	江別市	農閑期の11月～3月には、市内外から毎年3,300人程が訪れる「農家のかあさん土曜市」を開催している。「えべつかあさんブランド」としての加工品の認証、PRや商品開発にも取り組んでいる。また、地元高校生の農業体験の受け入れや消費者との体験バスツアー、イベントの開催などの交流活動も継続して行っている。
	特定非営利活動法人 サトニクラス	月形町	ハンディキャップを抱えながら社会参加を目指す人々と共に、障害者雇用と農作業の受託による地域農業の6次産業化と農福連携に取組み、地元高齢者の知恵を生かした漬物づくりや乾燥野菜づくりを事業化している。夏季には農家と連携して直売所を開設したり、札幌市内へ出張販売を行うなど都市と農村の交流事業を行っている。
函館	一般社団法人 i・スマイル	今金町	平成29年4月、今金高等養護学校等の卒業生など障害者2名を職員として雇用。人口減少対策や地域経済再生を目的に、障害者に健常者と同様に業務を行ってもらうことで、障害があっても活躍できるビジネスモデルを構築し、多様な人材が活用できるまちづくりを目指す。業務として、農作業(ミニトマトやシタケの栽培管理、収穫)や観光案内業務、お土産・地場農産物の販売業務を実施している。
小樽	北海道真狩高等学校	真狩村	小学生、生産者、企業、役場、教育委員会と連携し、今まで野菜がほとんど使われることのなかったスイーツ分野で、商品開発から販売までを高校生主体で行い、道の駅でカフェを運営。また、希少品種の大豆を小学生と栽培し、豆腐を製造。地元企業と農家と共同開発した豆腐ピザや豆乳プリンの販売。「野菜スイーツで村を元気に」を合言葉に、高校生パティシエが村の活性化事業に取り組んでいる。
旭川	ふらのカレンジャー娘	富良野市	地産地消のご当地グルメ「富良野オムカレー」をツールとして、地域の持続的発展と活性化を図るため、企業等と連携したオムカレーの試食提供、PR活動、地元小学校等と連携した食育活動、地元イベントでのオムカレー提供によるPR、地元コミュニティカフェを借り、農畜産物を活用した富良野オムカレーを市民へ提供する、といった活動に取り組んでいる。
室蘭	JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会	厚真町	厚真町ハスカップの販売振興及び産地をPRなどするため、対面販売・各種イベント・物産展への出展を実施していると共に冷凍ハスカップの賞味期限標記調査を実施している。
釧路	北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班	中標津町	地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開し、学年に合わせ、畑作や酪農、食品加工など幅広い分野から「農業」に向き合うことができる活動を行っている。 今年度からは地域住民の「小さな地区に大きなイベント」という声に応え、計根別地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「計根別景観UP大作戦」を新たに実施している。
	歯舞地区マリンビジョン協議会	根室市	歯舞地域における将来の漁業振興と観光振興構想である「歯舞地区マリンビジョン計画」に基づいた多様な取り組みを展開し、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指している。 特に歯舞水産物のブランド化を中心に位置付け、ブランド化への取り組みを通じた漁業振興、また、漁民泊や漁業体験、クルージング等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて関係者が一丸となって継続的に取り組み、活気のある漁村づくりを推進している。
	特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村 観光協会	鶴居村	暮らすように旅をする”農村でのんびり過ごす”新たな旅のスタイル「農泊」の確立へに向け、丹頂や釧路湿原、酪農景観など豊かな観光資源がある鶴居村で、地域住民と連携を図りながら牧歌的な景観が広がる農村地域の産業や文化を活かし、住んでいる人との交流をする長期滞在型の新しい旅のスタイル「鶴居村版農泊」に取り組んでいる。
帯広	北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町	士幌高校産牛乳を利用し、地域の魅力を詰め込んだ「ヌブカの雪解け」の開発と地域特産品化に取り組んでいる。地域特産品化へ向けた活動は、士幌町内に新たな会社「(株)CheerS」の立ち上げにつながり、町の課題である人口減少解消に向けた挑戦へと広がり続けている。
網走	網走川土地改良区	美幌町	「日本最東端の田んぼの学校」を町内に住む親子を対象に開催し、子供達に農業体験や自然観察を経験してもらうことにより、地域住民に地産地消、農村景観の保持、農業用施設の多面的機能等の重要性を伝えている。
留萌	株式会社 SOUL OBIRA	小平町	道の駅おびら鯨番屋を拠点とし、地域商品・地元生産品の試食・販売や漁業者や農業者などと新たな商品開発を行うなど、町内外はもとより国内外に小平町のポテンシャルを周知させるための活動を行っている。
稚内	豊富温泉コンシェルジュ・デスク	豊富町	コンシェルジュ・デスクは豊富温泉の総合案内所として、湯治の相談を始め宿泊施設の案内などを行っており、湯治客の憩いと交流の場として、地元からの協力のもとで様々なイベントを企画している。